

## 放射性物質の原乳への影響調査結果について

平成23年3月23日  
農林部畜産安全課

東京電力福島第一原子力発電所から漏れた放射性物質の原乳への影響調査を実施するため、3月22日に酪農家から採取した原乳2検体の分析を行った。

本日、検査結果が出て、全て暫定規制値を下回る数値であった。

この数値は、摂取を制限する必要のない水準で健康に影響はなく安全です。

## 1 調査概要

- (1) 調査地域 熊谷市、深谷市
- (2) 調査対象 原乳 2検体
- (3) 採取日 平成23年3月22日
- (4) 結果判明日 平成23年3月23日
- (5) 結果概要

原乳1キログラム当たりで

放射性ヨウ素 : 27、28 ベクレル (暫定規制値 300 ベクレル)

放射性セシウム : 3.6、4.1 ベクレル (暫定規制値 200 ベクレル)

- (6) 分析機関 埼玉県衛生研究所

## &lt;調査結果&gt;

市町村	品目	放射性物質の濃度 (Bq/Kg)			
		放射性ヨウ素	放射性セシウム	放射性セシウム	放射性セシウム
			134	137	計
熊谷市	原乳	27	1.8	1.8	3.6
深谷市	原乳	28	2.1	2.0	4.1
暫定規制値	牛乳 乳製品	300	—	—	200

## 2 今後の対応

- (1) 調査範囲を広げ、検査を継続していきます。
- (2) 現在、畜産農家に対し、家畜が放射性物質の影響を受けないよう
  - ア 牧草などの飼料を倉庫など屋内で保管すること。
  - イ 貯水槽に蓋をすること。
  - ウ 当面の間、搾乳牛を舎外で飼養しないこと。
 などの技術対策を進めていますが、引き続き指導して行きます。